

モミの木の力を
実感した出会い
暖かく、快適な空気で親孝行



モミの木の床とダークブラウンの家具が落ち着きを醸すつろぎのリビング。消臭、断熱効果の高いスピンオフの壁は「宇宙ロケットの技術ならいいものに違いない」とお母さまが特に気に入って下さいました。

東日本大震災の影響で家を新築することになったNさんご家族。モミの木の家との出会いは、「ご家族で訪れた利府展示場でした。最初は外観を気に入ったのですが、」とNさん。実はそのとき、新建材の匂いに敏感なお母さまの気分が悪くなっていたのだそう。さっさと見て帰るつもりが、モミの木の家に入ってから空気の良さを感じ、みるみるうちにいつもの元気を取り戻したとか。「体は正直なもので、母もどこよりも落ち着いてじっくり話を聞くことができました。直感でいいと思ったのですが、モミの木の消臭効果やスピンオフの断熱効果の話も納得できたので、ぜひお願いしたいと思いました」とNさん。

設計のポイントには、ローンが終わったばかりだったという愛着のある以前の家に近い間取りにすること。介護が必要なおばあさまが車いすで動きやすいように工夫すること。そして可愛い外観。お母さまが主体となって考えたアイデアを、手先が器用なNさんが紙で家の模型まで作ってイメージを伝えてくださいました。お父さまも「施工中に近所の方が現場スタッフの丁寧な仕事ぶりをほめてくれたので、信頼してお任せしていました」と話して下さいました。



担当より一言
営業 小宮

N様ご家族との出会いは、震災直後の時期でした。来店時に化学物質や臭いに変化敏感な母娘様でしたが、当社の展示場はそれがなかったことから、打合わせが始まりました。ご家族の健康面に對するこだわり意識がとても高く、最初からモミの木と出会うべくして出会ったというような運命を感じました。ご主人がペースメーカーを使われていることもあり電磁波が微弱な遠赤外線調理器を使って頂くご提案をしました。すべてが、モミの木の家に住んでいただく条件がそろっていたように思います。打合せも奥様の理想のイメージが最初からしっかりしておられたので、営業はあまり出る番が無く、少しさみしかった程です。けれど、大変満足して住んで頂けている事が担当営業として一番の喜びです。いつまでも健康でいて下さいね。これからもうぞ宜しくお願い致します。

2012年2月に入居。冬でも家じゅうがほんのり暖かく、素足が気持ちいい毎日です。Nさんもお母さまも悩んでいた花粉症の時期にも、家の中は空気がいいと満足されているよう。ご家族皆さんでまわりの方にモミの木の家の良さを薦めしてくれているそうです。



Nさんの部屋。着物をリフォームしたベッドカバーや手作りの小物たちが目を引きま。2Fの壁は淡いブルーを選んで爽やかな印象に。



DGHクッキングヒーターは火を使わないので安心。人体に影響する程の電磁波を発生しないのでペースメーカーを使用している方にも安心。介護が必要なおばあさまのためにトイレ、浴室、洗面を同じスペースに配しました。手前の廊下を広く取り、スムーズに動けるように配慮しています。



対面キッチン、シンク上部の吊戸棚をなくしリビングとの一体感と広さを演出。作業をしながらリビングやおばあさまの寝室も見渡せます。



和室と二間続きになっているおばあさまの寝室は車いすで動けるようモミの木にしました。モミの木の消臭効果や調湿効果、リラックス効果をはじめ、温もりある感触、柔らかな弾力は「介護をする、される」生活にも最適です。



CASE37:宮城県仙台市 Nさんのお宅
家族構成 Nさん、お父さま、お母さま、おばあさま
延べ床面積36坪 部屋4LDK
こだわり設備:モミの木の床 スピンオフ壁



日当たりの良い2Fホールは、あえてバルコニーを設けずこだわりのつろぎスペースに。雨の日の洗濯物干しにも。



チョコレートケーキのようなかわいい外観を目指しました。「美味しそう」な色合い



ようやく見つけた「お菓子の家」にぴったりなビスケット型のポスト。学校帰りの小学生が思わず立ち止まるとか。



次世代の住まい
CASE 37
宮城県仙台市
Nさんの家
取材日/2013年8月



玄関からの目隠しを兼ねたお気に入りの格子は、以前の家にあったものをそのまま使用。